

2026 年度

第4回女子全日本ホッケー選手権大会出場プレーオフ実施要項

2026 年 10 月

1. 大会名 第4回全日本女子ホッケー選手権大会出場プレーオフ
2. 共 催 公益社団法人日本ホッケー協会、日本社会人ホッケー連盟
3. 主 管 一般社団法人東京都ホッケー協会
4. 期 日 2026 年 11 月 2 日（月）・3 日（火・祝）
5. 会 場 11 月 2 日 大井ホッケー競技場 サブピッチ
11 月 3 日 大井ホッケー競技場 メインピッチ
6. 参加資格 (1)公益社団法人日本ホッケー協会（以下「JHA」という。）および日本社会人ホッケー連盟に一般種別として登録しているチームであること。
また、当該チームのスタッフおよび選手は JHA の会員登録を完了していること。
(2)第3回女子社会人プレミアムカップの第4位および第5位もしくは第48回全日本女子社会人ホッケー選手権大会優勝、準優勝チームであること。
(3)監督は、公益財団法人日本スポーツ協会の「コーチ3（ホッケー）」以上の資格を有していること。
7. 参加人員 チームスタッフ5名以内（監督1名、コーチ1名、医療スタッフ2名、その他のチームスタッフ1名）および選手30名以内の合計35名以内とする。なお、ベンチ入りできる選手は18名以内およびチームスタッフ5名以内の合計23名以内とする。
8. 参加申込 (1)別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ、必ずメールにより、送付先《A》および《B》の両方に同時に送信すること。
 - ・《A》公益社団法人日本ホッケー協会
TEL03-6812-9200 メール info@japan-hockey.org
 - ・《B》一般社団法人東京都ホッケー協会
TEL 090-6018-8075 メール akiramss@msn.com(2)大会プログラムは作成しない。
(3)参加申込後のチームスタッフ・選手の変更・追加ならびに背番号の変更は、一切認めない。
9. 申込期限 2026 年 10 月 23 日（金）午後5時（厳守）
10. 参 加 料 無料
11. 競技規則 2026 年度公益社団法人日本ホッケー協会競技規則、競技運営規程、レギュレーション及び有効な通達事項に基づき競技を行う。
12. 試合方法 トーナメント方式により優勝チームを決定する。優勝チームは、社会人4位チームとして、日本社会人ホッケー連盟の推薦により、第86回全日本

女子ホッケー選手権大会の出場権を獲得する。

13. 競技日程

- 1 回戦 11 月 2 日（月） 会場：大井ホッケー競技場 サブピッチ
①12:00 グラクソ・スミスクライン Orange United (プレミアムカップ 5 位)
vs H・F・C-HANNO (社会人 1 位)
②14:30 GIFU ASAHI BLUE BEES (プレミアムカップ 4 位)
vs ALL STICKS (社会人 2 位)
■ 決勝戦 11 月 3 日（火・祝）会場：大井ホッケー競技場 メインピッチ
18:30 ①の勝者 vs ②の勝者

14. 代表者会議等 開閉会式および代表者会議は開催しない。ただし、各チームにブリーフィング資料を配付する。

すべての参加者（チーム、競技役員、プレーオフ関係者）は、JHA が定める諸規程を熟読し、その内容に同意のうえで、「行動規範確認書」を提出したものとみなす。

諸規程に違反した場合には、懲戒処分の対象となることがあり、参加者は、自身の言動について責任を負うものとする。

15. 表彰規定 優勝チームに、「出場権獲得証」を授与する

16. そ の 他

- (1) 背番号は 1 番から 99 番とする。
- (2) 試合に出場する選手については、参加申込書に記載された選手の中から 18 名（以内）の選手を選び、スターティングリストに記載すること。
試合ごとにベンチ入りの 18 名（以内）を選択することができる。
- (3) スターティングリストは、基本的に電子メールによる送信で行う。
（詳細については、後日連絡する。）
- (4) 登録確認のための「会員証（電子登録証を含む）」のチェックは行いません。ただし、大会期間中に競技役員から確認を求められた場合は、速やかに提示できるように準備してください。
- (5) 参加者は、万が一の事故に備え、「マイナ保険証」または「資格確認書」を必ず携帯すること。大会側で応急処置を施しますが、その後の治療は参加者自身と各チームの責任において行うこと。選手の健康管理は各チームで徹底すること。
- (6) 大会期間中のチームの移動については、チームの責任において行うこと。
- (7) 2026 年 4 月 1 日付け通達「監督、選手、コーチ、医療スタッフの兼任について」を厳守すること。
- (8) TD により出場停止処分を受けた場合には、次試合以降のスターティングリストに（S）と記入しなければならない。その際、ベンチに入る人数は削減される。

- (9) 選手の安全面を考える上で、登録選手全員にマウスガードを装着させなければならない。
- マウスガードを装着できない場合は、その理由を書面（マウスガード未装誓約書）により、参加申込書と同様に電子メールで提出しなければならない。なお、ゴールキーパーのマウスガードの装着は義務づけられない。
- (10) ペナルティコーナー時、すべての守備側プレイヤーは、顔面または頭部全体を保護するフェイスマスクを着用しなければなりません。フェイスマスクを着用できない場合は、その理由を書面（フェイスマスク未装着誓約書）により、参加申込書と同様に電子メールで提出しなければならない。
- (11) 大会試合球については、Kookaburra Sport Pty Ltd. 製造「Kookaburra Dimple Elite」を使用する。
- (12) 荒天またはフィールドの状態不良により、試合時間または会場を変更する場合がある。原則として、大会期間の延長は行わない。特に、雷鳴や雷注意報等により、試合を緊急中断する場合がある。これらの判断は TD が行う。
- (13) 不測の事態が発生した場合には、TD および関係機関が対応を決定する。
- (14) 医療スタッフまたは手当てを行う者に代えて、当該チームのスターティングリストに記載されていない選手（20 歳以上）を手当てを行う者としてベンチに入れることができる。この場合、当該選手をチームスタッフとして登録する必要はない。

以上